

平成25年4月26日

広島大学文書館が新たな資料の公開を開始しました

広島大学文書館では、平成25年4月より本学にゆかりのある大牟田稔氏、森岡正美氏に関する資料の公開を下記のとおり開始しました。

大牟田稔氏は、本学文学部の卒業生で、中国新聞論説委員会主幹、広島平和文化センター理事長を歴任しました。その旧蔵資料には、原爆報道および平和行政に関する文書が多く含まれており、戦後ヒロシマのあゆみを研究する上で重要な史料群といえます。総点数で約5万3千点の資料があり、今回は第1期分として、そのうちの14,066点を公開しました。

森岡正美氏は、本学の前身校である広島師範学校、広島高等師範学校、広島文理科大学の卒業生で、広島県の県立高校の校長などを務めました。学生時代のアルバムや講義ノートが多く含まれており、戦前の前身校の学生生活や教育の一端がうかがえます。本学の前身校については、原爆によって多くの記録が焼失しており、記録の空白を埋める上で貴重な資料と考えています。

記

【新規公開資料】

(1) 大牟田稔関係文書

『大牟田稔関係文書目録』資料編1 (広島大学文書館、平成25年3月刊行)

公開点数：14,066点

(2) 森岡正美関係文書

「森岡正美関係文書目録」『広島大学文書館紀要』15号 (広島大学文書館、平成25年3月刊行) 所収。

公開点数：402点

【利用日時・場所】

利用日時：月～金曜日(ただし、祝日、12月28日～翌年1月4日は除く)
9:30～16:30(利用申込時間：9:30～11:45、13:00～16:00)

利用場所：広島大学文書館(東広島キャンパス内)

※閲覧にあたっては、個人情報およびプライバシー保護の観点から審査を実施させていただきます。審査の結果、利用を制限させていただく場合がございます。あらかじめご了承ください。

【お問い合わせ先】

広島大学文書館 担当：石田

TEL:082-424-6050 FAX:082-424-6049

E-mail: bunsyokan@office.hiroshima-u.ac.jp

URL: <http://home.hiroshima-u.ac.jp/hua/index.html>